

| 氏名(出場・出品時の所属)      | 大会名等                                      |
|--------------------|---|
| 関 日向<br>(日大山形高2年)  | 平成29年度第70回全国高等学校バスケットボール選手権大会             |
| 金田 綾乃<br>(米沢中央高2年) | 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会                    |
| 橋本 凌央<br>(南陽高2年)   | 第36回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会                    |
| 今 躍作<br>(南陽高2年)    | 第36回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会                    |
| 高田真亜稀<br>(九里学園高2年) | 第73回国民体育大会冬季大会                            |
| 今野 美空<br>(白鷹中2年)   | JOCジュニアオリンピックカップ第14回都道府県対抗全日本中学女子ソフトボール大会 |
| 廣居 千尋<br>(白鷹中2年)   | 第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会                      |
| 紺野 夢乃<br>(東根小5年)   | 第12回全国アルペンスキー大会                           |
| 廣居 太聖<br>(鮎貝小6年)   | 第12回全国アルペンスキー大会                           |
| 沖田 乃彩<br>(白鷹中2年)   | 平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール                    |
| 川田 大夢<br>(鮎貝小4年)   | 第29回読書感想画中央コンクール                          |

文化・スポーツ活動において優秀な成績を収め、全国大会への出場を果たされた方々に、町より激励金を交付しています。平成29年度第3期分として交付させていただいた成績優秀者は左記の11人です。



4月6日に行われた交付式

### 全国大会出場の栄光をたたえて 平成29年度成績優秀者に激励金を交付



4月2日、白鷹町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が町長室で行われ、現隊員の石井紀子さん、遠藤真弓さん、茅野唯さんに加え、今年度より新たに加入した三浦康さんに佐藤町長より委嘱状が交付されました。町で7人目の協力隊となった三浦さんは、北海道札幌市の出身。写真や登

### 地域おこし協力隊へ委嘱状を交付 新たに三浦康さんが着任

本町への移住に関する問い合わせは、「白鷹町ふるさと移住推進協議会(役員 商工観光課内)」及び東京サテライト事務所が受付けていましたが、移住に関するサポート役となる「移住コンシェルジュ」として、このたび東京から移住された田勢秀康さん(黒鴨在住)が就任され、協議会長の横

### 白鷹への移住後押し 移住コンシェルジュに田勢秀康さんが就任

澤副町長から委嘱状が交付されました。田勢移住コンシェルジュには、フェリスブックページでの町紹介や、相談会の対応、下見来町された方の案内など、先輩移住者の視点でサポートしていただきます。町民の皆さんのご支援をよろしく願います。



横澤副町長から委嘱状を受け取る田勢移住コンシェルジュ

山が得意で、今までに雑誌の編集や造林関係の仕事に携わってきました。今後は町観光協会イベントの企画や運営に係る活動に取り組んでいきます。また、石井さんと遠藤さんは蚕桑地区、茅野さんは鷹山地区を拠点に、引き続き地域の皆さんと協力しながら町おこしをしていきます。

### 環境衛生の推進と環境整備のために—— 長年の活動を称え衛生功労者表彰



表彰状を手にする菊地さん

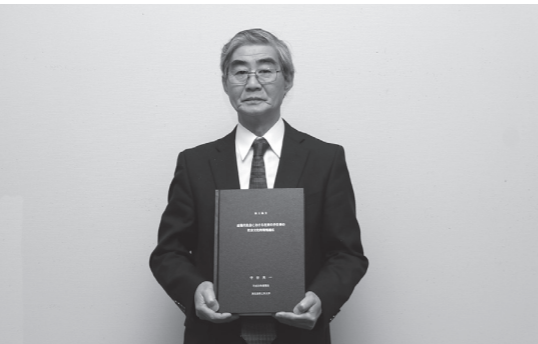


感謝状を手にする高橋さん

4月11日に行われた区長・副区長・町内長会の席上において、白鷹町衛生組合連合会(海老名慎一郎会長)から高橋弘夫さんに感謝状が贈られ、浅立婦人会(代表・菊地幸子さん)に表彰状が贈られました。高橋さんは平成18年度から29年度までの12年間、浅立支部長として精励され、平成24年度から26年度まで

は会長を歴任されました。また、浅立婦人会においては、平成10年度頃より地区内の清掃活動に取り組むことで環境美化推進に貢献されています。長年にわたり環境衛生の推進と環境整備のため積極的な指導と実践活動に貢献されたとして、このたびの表彰となりました。

### 長年の研究の成果を皆さんへ—— 守谷英一氏が町に博士論文を寄贈



寄贈いただいた論文を手にする守谷さん

高校の教員を退職後、東北芸術工科大学大学院に在籍し研究を進められた守谷英一氏(荒砥甲)より、研究取材の際にお世話になった方々への御礼として、博士号取得の元になった論文を町に寄贈いただきました。論文の題目は「近現代社会における在来の手仕事の

社会文化的環境適応」。白鷹紬や深山和紙等、町内外に伝わる手工芸にスポットを当て、地場産業としての歴史や生活文化について深く掘り下げまとめられたことが高く評価され、3月31日付で博士号(芸術工学)を授与されました。論文は町立図書館に置かせていただきます。

### 紅花を育て、郷土愛を育む 町内全小中学校で紅花栽培がスタート

今年度より、町が生産量日本一を誇る紅花を栽培する体験学習が町内全小中学校で始まり、各学校の児童生徒が4月中旬に紅花の種まき作業を行いました。17日には、白鷹中学校の1年生94人が畔藤地区にある紅花畑で種まき作業を行いました。はじめに「白鷹紅の花を咲かせる会(布

施信弘会長)」の会員より紅花について概要説明があり、その後各班に分かれて作業を開始。生徒たちは「ちゃんと芽が出るか心配だけど、元気に立派に育ってほしい」と手作業でいねいに種をまきました。生徒たちは今後、間引きと収穫を経て、紅餅作りまで体験する予定です。



立派に育つことを願いながら紅花の種をまく生徒たち